

令和6年度福島県文化功労賞受賞者について

多年にわたり本県文化の向上に著しい業績を表した個人を表彰する令和6年度福島県文化功労賞に、下記2名が決定しました。

なお、表彰式は、令和6年11月3日（日）文化の日に杉妻会館「牡丹」で行う予定です。

記

(氏名50音順)

部門	分野	氏名(本名)	生年月日	年齢	役職等	住所
芸術	美術	えんどう のぼる 遠藤 徳	S11. 2. 14	88	本宮美術協会 顧問	本宮市
<p>日本美術展覧会では特選を2回受賞、日本彫刻会展覧会では平成25年に日彫賞を受賞するなど、高い評価を受けている。</p> <p>また、本宮美術協会の設立に参画し、会長、顧問を務めるなど本宮市の美術の発展に貢献するとともに、県彫刻会や県美術家連盟の会員として、本県の美術、彫刻分野の発展に寄与している。</p> <p>さらに、県総合美術展覧会、県シルバー美術展の出品者研修の講師等を務め、後継者の育成にも尽力している。</p>						

部門	分野	氏名	生年月日	年齢	役職等	住所
体育	スポーツ	かとう いずる 加藤 出	S24. 7. 4	75	国際弓道連盟 会長 (公財)全日本弓道連盟 会長	川俣町
<p>全日本弓道選手権大会の県代表選手として24回の出場実績を持ち、昭和56年には優勝、天皇杯を授与された。</p> <p>また、福島県弓道連盟の会長として、本県弓道競技の技術向上、地域の普及振興、後継者の育成に尽力した。</p> <p>さらに、公益財団法人全日本弓道連盟の要職を歴任し、現在は会長を務めており、中央審査委員や中央講師として全国各地の弓道連盟へ派遣されているほか、国際弓道連盟の会長として海外で数多くの講習を行うなど、国内外で弓道の発展に貢献している。</p>						